

製造販売元：日本イーライリリー株式会社

販売元：田辺三菱製薬株式会社※

※ 田辺三菱製薬株式会社は 2025 年 12 月 1 日から田辺ファーマ株式会社に社名変更しました。

市販直後調査

2023年4月～2023年10月

2024 年 1 月

マンジャロ® 市販直後調査 最終結果のお知らせ

調査期間：2023 年 4 月 18 日～2023 年 10 月 17 日

謹啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。マンジャロ®におきまして、発売開始 2023 年 4 月 18 日から 2023 年 10 月 17 日まで市販直後調査を実施して参りました。

この度、市販直後調査の最終結果がまとまりましたので、市販直後調査期間中にご提供頂きました副作用等の情報をご報告いたします。本調査につきまして多大なるご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

今後とも、適正使用のための情報収集・提供に努める所存でございますので、引き続き、本剤の適正使用にご協力賜りますようお願い申し上げます。

本お知らせは、ご報告頂いた情報を速やかにお伝えすることを目的としており、今後の調査の進行、詳細情報の入手により副作用名や因果関係等が変更となる可能性がありますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

目次

市販直後調査の実施状況.....	2
副作用集積状況.....	2
重篤な副作用の集積状況.....	2
本剤使用時にご注意頂きたい事項.....	4
＜高齢者への本剤のご使用について＞.....	4
＜BMI の低い患者さんへの本剤のご使用について＞.....	6
＜インスリン中止に伴う糖尿病性ケトアシドーシスを含む高血糖＞.....	6
副作用集積状況一覧.....	7
本剤の適正使用のお願い.....	12

市販直後調査の実施状況

調査期間：2023 年 4 月 18 日～2023 年 10 月 17 日
調査対象医療機関数：13,002 施設
推定使用患者数（2023 年 10 月 31 日時点）：約 132,400 例

副作用集積状況

- 2023年4月18日から2023年10月17日までに収集した副作用（本剤との因果関係が否定できない有害事象）は1,967例2,635件でした。詳細は7ページからの表3：副作用集積状況一覧をご参照ください。
- 重篤な副作用は81例 121件報告され、そのうち2例は死亡例でした。非重篤な副作用は1,906例 2,514件報告されました。
- 多く報告された事象は、悪心（659件）、食欲減退（364件）、下痢（200件）、嘔吐（172件）および低血糖（83件）でした。

重篤な副作用の集積状況

重篤な副作用は 81例 121件報告されました。詳細は表1を参照ください。
2件以上報告された重篤な副作用は、嘔吐（11件）、低血糖（9件）、脱水（8件）、悪心（4件）、ケトアシドーシス（4件）、膵炎（4件）、急性膵炎（3件）、高血糖（3件）、食欲減退（3件）、浮動性めまい（3件）、糖尿病性ケトアシドーシス（2件）、急性胆管炎（2件）、急性胆嚢炎（2件）、胆石症（2件）、胆嚢炎（2件）、急性腎障害（2件）、骨折（2件）でした。

表 1：重篤な副作用の集積状況一覧（集計期間：2023 年 4 月 18 日～2023 年 10 月 17 日）

報告副作用		重篤 報告件数
器官別大分類	副作用名 (MedDRA 基本語)	
感染症および寄生虫症	*ウイルス性腸炎	1
	*胃腸炎	1
	*誤嚥性肺炎	1
	*虫垂炎	1
	*尿路感染	1
	*肺炎	1
	*肺炎球菌性肺炎	1
	*腹膜炎	1
良性、悪性および詳細不明の 新生物（嚢胞およびポリープ を含む）	*悪性新生物	1
血液およびリンパ系障害	*貧血	1
免疫系障害	*アナフィラキシーショック	1
代謝および栄養障害	低血糖	9
	脱水	8
	*ケトアシドーシス	4
	*高血糖	3
	食欲減退	3
	*糖尿病性ケトアシドーシス	2
	*ケトーシス	1
	高アミラーゼ血症	1
	*高血糖性高浸透圧性非ケトン性症候 群	1
	*低カリウム血症	1
	*低ナトリウム血症	1
	*マラスムス	1 (転帰死亡)
精神障害	*摂食障害	1
神経系障害	浮動性めまい	3

報告副作用		重篤 報告件数
器官別大分類	副作用名 (MedDRA 基本語)	
	*水頭症	1
	低血糖昏睡	1
	*糖尿病性高血糖昏睡	1
	*脳梗塞	1
	*ラクナ梗塞	1
眼障害	*硝子体出血	1
心臓障害	*急性心筋梗塞	1
	*心室性頻脈	1
	*慢性心不全	1
血管障害	*神経原性ショック	1
呼吸器、胸郭および縦隔障害	*窒息	1 (転帰死亡)
胃腸障害	嘔吐	11 (うち1件は転帰死亡)
	悪心	4
	膵炎	4
	急性膵炎	3
	*虚血性大腸炎	1
	*出血性胃炎	1
	消化管運動低下	1
	*膵腫大	1
	*腸炎	1
	*腸壁気腫症	1
	腹痛	1
	便秘	1
	*麻痺性イレウス	1
肝胆道系障害	急性胆管炎	2
	急性胆嚢炎	2
	胆石症	2
	胆嚢炎	2
	*胆管結石	1
皮膚および皮下組織障害	*結節性紅斑	1
	*皮膚潰瘍	1
	*皮膚疼痛	1
筋骨格系および結合組織障害	*横紋筋融解症	1
腎および尿路障害	急性腎障害	2
一般・全身障害および投与部位の状態	倦怠感	1
	*体調不良	1
	*発熱	1
	*末梢性浮腫	1
臨床検査	*肝機能検査値上昇	1
	*血中カルシウム増加	1
	*血中クレアチニン増加	1
	*血中尿素増加	1
	*糸球体濾過率減少	1
	体重減少	1
傷害、中毒および処置合併症	*骨折	2
	*転倒	1
	*熱疲労	1
合計		121

*：電子添文「使用上の注意」から予測できない副作用。

報告された副作用は、ICH 国際医薬用語集日本語版MedDRA/J ver.26.0の基本語（PT：Preferred Term）でコード化し、記載しております。

本剤使用時にご注意頂きたい事項

＜高齢者への本剤のご使用について＞

高齢の患者さんにおける副作用報告が一定数認められました。65歳以上の高齢者における重篤な副作用の報告は40例65件でした。また、死亡2例は、70代、80代の患者さんでの報告でした。高齢者の重篤副作用一覧を表2に示します。

表2：重篤な副作用のうち「高齢者（65歳以上）」において報告された副作用

報告副作用		重篤 報告件数
器官別大分類	副作用名 (MedDRA 基本語)	
感染症および寄生虫症	*誤嚥性肺炎	1
	*虫垂炎	1
	*肺炎球菌性肺炎	1
代謝および栄養障害	脱水	6
	低血糖	5
	*高血糖	3
	*糖尿病性ケトアシドーシス	2
	*ケトアシドーシス	1
	食欲減退	2
	*低カリウム血症	1
	*低ナトリウム血症	1
	*マラスムス	1 (転帰死亡)
精神障害	*摂食障害	1
神経系障害	浮動性めまい	2
	低血糖昏睡	1
	*脳梗塞	1
	*ラクナ梗塞	1
心臓障害	*急性心筋梗塞	1
血管障害	*神経原性ショック	1
呼吸器、胸郭および縦隔障害	*窒息	1 (転帰死亡)
胃腸障害	嘔吐	9 (1件は転帰死亡)
	悪心	2
	膵炎	2
	急性膵炎	1
	*虚血性大腸炎	1
	*出血性胃炎	1
	便秘	1
肝胆道系障害	急性胆管炎	2
	*胆管結石	1
	胆石症	1
皮膚および皮下組織障害	*皮膚潰瘍	1
筋骨格系および結合組織障害	*横紋筋融解症	1
腎および尿路障害	急性腎障害	1
一般・全身障害および投与部位の状態	倦怠感	1
臨床検査	*血中カルシウム増加	1
	*血中クレアチニン増加	1
	*血中尿素増加	1
	*糸球体濾過率減少	1

報告副作用		重篤 報告件数
器官別大分類	副作用名 (MedDRA 基本語)	
傷害、中毒および処置合併症	*転倒	1
	*疲労熱	1
合計		65

*：電子添文「使用上の注意」から予測できない副作用。

報告された副作用は、ICH 国際医薬用語集日本語版MedDRA/J ver.26.0の基本語（PT：Preferred Term）でコード化し、記載しております。

高齢者の死亡例のうち一定の情報が得られた症例の概要を下記に示します。

副作用の発現状況、症状等の経過	
本剤開始 48 日前 本剤開始 14 日前 本剤開始 12 日前 本剤開始 7 日前 本剤開始日 本剤開始 3 日後 本剤開始 4 日後 (発現日)	80 歳代、男性。 本剤開始前 BMI 23.78。 インスリングラルギン/リキシセナチド投与開始。 HbA1c 12.8 %、血糖 291 mg/dL に急性増悪し緊急入院。 インスリングラルギン/リキシセナチド 投与中止後、グラルギン 6 単位 (0.1 単位/kg)とインスリンリスプロによるインスリンスライディングスケール開始。 本剤投与約 1 週間前、デュラグルチド投与（投与は 1 回のみ）。 本剤 2.5mg 投与開始（本剤投与は 1 回のみ）。 本剤投与開始後、消化器症状は全くなかった。食事も全量摂取できていた。嚥下機能も理学/作業療法士にて評価され問題なし。 バイタル 体温: 36.3℃、血圧: 152/65 mmHg、心拍数: 68/min、呼吸数: 18/min。 患者がトイレに行ったところを看護師が確認した約 30 分後の巡視にて嘔吐痕あり心肺停止で発見された。当直医により心肺蘇生法開始し、アドレナリン 8 回投与も心肺蘇生なし。死亡確認。死亡時画像診断(Ai)では胃内に食物残渣多く、心肺停止に至る所見なし。窒息による死亡と診断された。剖検は家族の意向で実施せず。
合併症：自律神経失調症、認知症、高血圧症、胆管癌疑い、脂質異常症 既往歴：左大腿骨骨折、S 状結腸癌、胆嚢炎、肝膿瘍 糖尿病治療薬使用歴：インスリングラルギン/リキシセナチド、デュラグルチド 併用薬：サクビトリアルバルサルタンナトリウム水和物、ロスバスタチンカルシウム、ミラベグロン、牛車腎気丸、ウルソデオキシコール酸	

電子添文の「9.特定の背景を有する患者に関する注意」に高齢者へ使用される際は「体重も含め、患者の状態を観察しながら慎重に投与すること」と記載しております。一般的に高齢者は、生理機能が低下していることが多いため、患者さんの状態を観察しながら、慎重に投与ください。

9.特定の背景を有する患者に関する注意

9.8. 高齢者

体重も含め、患者の状態を観察しながら慎重に投与すること。一般に生理機能が低下していることが多い。[7.4、8.9参照]

7.用法及び用量に関連する注意

7.4 本剤投与による用量依存的な体重減少が認められているため、血糖コントロールだけでなく、体重減少にも注意し、本剤の増量の必要性を慎重に判断すること。[9.8参照]

<BMI の低い患者さんへの本剤のご使用について>

投与開始時の BMI が $23\text{kg}/\text{m}^2$ 未満の患者さんでの本剤の有効性及び安全性は検討されていません。本剤投与による用量依存的な体重減少が認められているため、血糖コントロールだけでなく、体重減少にも注意し、過度の体重減少がみられた場合は、本剤の減量又は投与中止を考慮してください。

8.重要な基本的注意

8.9 過度の体重減少がみられた場合は、本剤の減量又は投与中止を考慮すること。投与開始時のBody Mass Index (BMI) が $23\text{kg}/\text{m}^2$ 未満の患者さんでの本剤の有効性及び安全性は検討されていない。[9.8参照]

9.特定の背景を有する患者に関する注意

9.8. 高齢者

体重も含め、患者の状態を観察しながら慎重に投与すること。一般に生理機能が低下していることが多い。[7.4、8.9参照]

<インスリン中止に伴う糖尿病性ケトアシドーシスを含む高血糖>

<高齢者への本剤のご使用について>の項に記載した転帰死亡2例のうち1例は、インスリン製剤を使用されており本剤投与後にケトアシドーシスが発現したと報告されております。

また、死亡例以外に、糖尿病性ケトアシドーシスを含む高血糖関連の症例として10例が報告され、全て重篤な副作用でした。10例の詳細は、高血糖が3例、ケトアシドーシス4例、糖尿病性ケトアシドーシス1例、高血糖性高浸透圧性非ケトン性症候群1例および糖尿病性高血糖昏睡1例でした。

なお、糖尿病性ケトアシドーシスを含む高血糖として報告された重篤症例のうち、死亡以外の重篤な症例10例において、インスリン製剤から本剤への切り替え後にケトアシドーシスを含む高血糖が発現した症例と確認されたのは1例でした。その他は、インスリン製剤減量後に本剤投与を開始し、高血糖を発現した症例が1例、SGLT2阻害薬を含む経口糖尿病治療薬との併用中の発現であった症例が6例確認され、残り2例は調査困難で本剤開始前の糖尿病治療や本剤以外の糖尿病治療薬は不明でした。

本剤の医薬品リスク管理計画書において「インスリン中止に伴う糖尿病性ケトアシドーシスを含む高血糖」は重要な潜在的リスクに設定されています。

また、電子添文の「重要な基本的注意」に記載しておりますとおり、本剤はインスリンの代替薬ではありません。インスリンから本剤への切り替えに際しては、患者さんがインスリン依存状態でないことをご確認ください。切り替え後は血糖値の変動を含め、副作用の発現に十分ご留意頂きますようお願いいたします。

8.重要な基本的注意

8.1 本剤はインスリンの代替薬ではない。本剤の投与に際しては、患者のインスリン依存状態を確認し、投与の可否を判断すること。インスリン依存状態の患者で、インスリンからGLP-1受容体作動薬に切り替え、急激な高血糖及び糖尿病性ケトアシドーシスが発現した症例が報告されている。

副作用集積状況一覧

表3：副作用集積状況一覧（集計期間：2023年4月18日～2023年10月17日）

報告副作用		報告件数		
器官別大分類	副作用名 (MedDRA 基本語)	重篤	非重篤	合計
感染症および寄生虫症	*上咽頭炎		9	9
	*COVID-19		4	4
	*胃腸炎	1		
	*咽頭炎		1	1
	*インフルエンザ		1	1
	*ウイルス性胃腸炎		1	1
	*ウイルス性腸炎	1		1
	*結膜炎		1	1
	*誤嚥性肺炎	1		1
	*コロナウイルス感染		1	1
	*虫垂炎	1		1
	*尿路感染	1		1
	*肺炎	1		1
	*肺炎球菌性肺炎	1		1
	*腹膜炎	1		1
	*ヘリコバクター感染		1	1
	*膀胱炎		1	1
良性、悪性および詳細不明の新生物（嚢胞およびポリープを含む）	*悪性新生物	1		1
血液およびリンパ系障害	*赤血球増加症		1	1
	*貧血	1	1	2
免疫系障害	*アナフィラキシーショック	1		1
内分泌障害	*グレーブス病		1	1
代謝および栄養障害	食欲減退	3	361	364
	低血糖	9	74	83
	脱水	8	2	10
	*食欲亢進		8	8
	*高血糖	3	4	7
	*過小食		5	5
	*ケトアシドーシス	4		4
	*糖尿病性ケトアシドーシス	2		2
	*栄養補給障害		1	1
	*ケトーシス	1		1
	*高血糖性高浸透圧性非ケトン性症候群	1		1
	高アミラーゼ血症	1		1
	*コントロール不良の糖尿病		1	1
	*低アルブミン血症		1	1
	*低カリウム血症	1		1
	*低ナトリウム血症	1		1
	*糖尿病		1	1
	*マラスムス	1		1
精神障害	*抑うつ症状		2	2
	*悪夢		1	1
	*幻覚		1	1
	*摂食障害	1		1
	*抜毛癖		1	1
神経系障害	頭痛		22	22

報告副作用		報告件数		
器官別大分類	副作用名 (MedDRA 基本語)	重篤	非重篤	合計
	*傾眠		20	20
	浮動性めまい	3	10	13
	*味覚障害		7	7
	振戦		4	4
	*味覚不全		4	4
	*感覚鈍麻		3	3
	*体位性めまい		2	2
	*温度覚鈍麻		1	1
	*健忘		1	1
	*錯感覚		1	1
	*神経痛		1	1
	*水頭症	1		1
	*知覚過敏		1	1
	低血糖昏睡	1		1
	*糖尿病性高血糖昏睡	1		1
	*頭部不快感		1	1
	*脳梗塞	1		1
	*味覚減退		1	1
	*無嗅覚		1	1
	*ラクナ梗塞	1		1
眼障害	*眼そう痒症		2	2
	眼瞼浮腫		2	2
	*硝子体出血	1		1
	*眼痛		1	1
	*眼部腫脹		1	1
	糖尿病網膜症		1	1
	*霧視		1	1
	*眼の異常感		1	1
耳および迷路障害	*耳鳴		1	1
	*耳不快感		1	1
心臓障害	動悸		5	5
	*急性心筋梗塞	1		1
	*心室性頻脈	1		1
	*慢性心不全	1		1
血管障害	*起立性低血圧		2	2
	*神経原性ショック	1		1
	蒼白		1	1
	*ほてり		1	
	*末梢冷感		1	
呼吸器、胸郭および縦隔障害	*口腔咽頭痛		2	2
	*口腔咽頭不快感		1	1
	*咽喉刺激感		1	1
	咽頭腫脹		1	1
	*しゃっくり		1	1
	*上気道の炎症		1	1
	*咳嗽		1	1
	*窒息	1		1
	*発声障害		1	1
胃腸障害	悪心	4	655	659
	下痢		200	200
	嘔吐	11	161	172
	便秘	1	78	79
	腹部不快感		56	56

報告副作用		報告件数		
器官別大分類	副作用名 (MedDRA 基本語)	重篤	非重篤	合計
	胃腸障害		29	29
	腹部膨満		29	29
	腹痛	1	24	25
	消化不良		17	17
	上腹部痛		17	17
	おくび		8	8
	胃食道逆流性疾患		7	7
	鼓腸		6	6
	*軟便		4	4
	膵炎	4		4
	急性膵炎	3		3
	*胃潰瘍		2	2
	心窩部不快感		2	2
	*変色便		2	2
	*胃炎		1	1
	*胃拡張		1	1
	*異常便		1	1
	*イレウス		1	1
	下腹部痛		1	1
	*虚血性大腸炎	1		1
	*呼気臭		1	1
	*口内炎		1	1
	*歯肉痛		1	1
	*出血性胃炎	1		1
	*消化管運動過剰		1	1
	消化管運動低下	1		1
	*膵腫大	1		1
	*腸炎	1		1
	*腸壁気腫症	1		1
	*麻痺性イレウス	1		1
肝胆道系障害	胆石症	2	1	3
	*肝障害		2	2
	急性胆管炎	2		2
	急性胆嚢炎	2		2
	胆嚢炎	2		2
	*脂肪肝		1	1
	*胆管結石	1		1
	*胆嚢腫大		1	1
皮膚および皮下組織障害	発疹		16	16
	*そう痒症		15	15
	*蕁麻疹		11	11
	湿疹		3	3
	*脱毛症		3	3
	*皮膚疼痛	1	2	3
	薬疹		3	3
	冷汗		3	3
	*ざ瘡		2	2
	*乾癬		2	2
	*紅斑		2	2
	*多汗症		2	2
	*アトピー性皮膚炎		1	1
	*丘疹		1	1
	*結節性紅斑	1		1

報告副作用		報告件数		
器官別大分類	副作用名 (MedDRA 基本語)	重篤	非重篤	合計
	*紫斑		1	1
	*水疱		1	1
	そう痒性皮疹		1	1
	*皮膚刺激		1	1
	*皮膚潰瘍	1		1
	*慢性色素性紫斑		1	1
筋骨格系および結合組織障害	*筋肉痛		10	10
	*関節痛		5	5
	*筋骨格硬直		5	5
	*背部痛		5	5
	*頸部痛		2	2
	*四肢痛		2	2
	*横紋筋融解症	1		1
	*顎関節症候群		1	1
	*関節腫脹		1	1
	*筋力低下		1	1
	*腱鞘炎		1	1
	*リウマチ性多発筋痛		1	1
腎および尿路障害	腎機能障害		5	5
	急性腎障害	2		2
	*尿失禁		1	1
	*頻尿		1	1
	*夜間頻尿		1	1
生殖系および乳房障害	*月経遅延		2	2
	*月経中間期出血		1	1
	*性器出血		1	1
一般・全身障害および投与部位の状態	注射部位疼痛		80	80
	倦怠感	1	48	49
	注射部位紅斑		39	39
	注射部位出血		37	37
	注射部位そう痒感		35	35
	注射部位内出血		19	19
	注射部位腫脹		11	11
	注射部位反応		8	8
	*発熱	1	7	8
	*口渇		5	5
	注射部位発疹		5	5
	*浮腫		5	5
	*異常感		4	4
	*末梢性浮腫	1	3	4
	*体調不良	1	2	3
	注射部位湿疹		3	3
	注射部位変色		3	3
	注射部位蕁麻疹		3	3
	疲労		3	3
	空腹		2	2
	注射部位過敏反応		2	2
	注射部位硬結		2	2
	注射部位熱感		2	2
	*熱感		2	2
	無力症		2	2
	*異物感		1	1
	*悪寒		1	1

報告副作用		報告件数		
器官別大分類	副作用名 (MedDRA 基本語)	重篤	非重篤	合計
	顔面浮腫		1	1
	*状態悪化		1	1
	注射部位溢出		1	1
	注射部位結節		1	1
	注射部位腫瘍		1	1
	注射部位知覚異常		1	1
	注射部位知覚低下		1	1
	*投与部位蕁麻疹		1	1
	*不快感		1	1
	*末梢腫脹		1	1
臨床検査	体重減少	1	61	62
	*血中ブドウ糖増加		17	17
	*体重増加		8	8
	血中ブドウ糖減少		7	7
	*グリコヘモグロビン増加		6	6
	*アラニンアミノトランスフェラーゼ増加		5	5
	アミラーゼ増加		4	4
	*グリコヘモグロビン減少		4	4
	*血中尿酸増加		4	4
	*アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加		3	3
	血圧低下		3	3
	*血中クレアチニン増加	1	2	3
	*肝機能検査値上昇	1	1	2
	*血中トリグリセリド増加		2	2
	*血中尿素増加	1	1	2
	*γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加		1	1
	*血圧上昇		1	1
	*血小板数減少		1	1
	*血中カルシウム増加	1		1
	*糸球体濾過率減少	1		1
	心拍数増加		1	1
	*体温低下		1	1
	*トランスアミナーゼ異常		1	1
	*尿中ケトン体陽性		1	1
	*尿中ブドウ糖陰性		1	1
	*尿量増加		1	1
	*白血球数増加		1	1
傷害、中毒および処置合併症	*妊娠時の母体の曝露		4	4
	*熱中症		3	3
	*骨折	2		2
	*転倒	1		1
	*熱疲労	1		1
	*皮下血腫		1	1
総計		121	2514	2635

*電子添文「使用上の注意」から予測できない副作用
ICH 国際医薬用語集日本語版 (MedDRA/J) ver.26.0

本剤の適正使用のお願い

本剤の使用に際しましては、引き続き最新の電子添文を参照の上、適正使用をお願いいたします。

[マンジャロ（チルゼパチド）電子化された添付文書 | 医療関係者向け – 日本イーライリリー株式会社 \(lillymedical.jp\)](http://lillymedical.jp)

以下の二次元コードから「添文ナビ®」アプリをダウンロードし、下記の GS1 バーコードを読み取ると、PMDA ホームページ上の最新の電子添文をご確認いただけます。



なお、本剤の投与対象は2型糖尿病患者さんです。それ以外の目的で使用された場合の安全性及び有効性については確認されていません。

PMDA ホームページ：製薬企業からの適正使用等に関するお知らせ
[000252781.pdf \(pmda.go.jp\)](https://www.pmda.go.jp/safety/000252781.pdf)

日本糖尿病学会のホームページに「GLP-1 受容体作動薬および GIP/GLP-1 受容体作動薬の適応外使用に関する日本糖尿病学会の見解」が掲載されておりますので、あわせてご確認ください。

http://www.jds.or.jp/modules/important/index.php?content_id=191

また本剤の「適正使用のお願い」もあわせてご利用ください。

[マンジャロ（チルゼパチド）適正使用のお願い | 医療関係者向け – 日本イーライリリー株式会社 \(lillymedical.jp\)](http://lillymedical.jp)



なお、2023年12月4日に、日本糖尿病学会のホームページにおいて、「マンジャロ®皮下注に関する重要なお知らせ」が掲載されました。本文中に本剤の市販直後調査 第2回中間結果のお知らせ（集計期間：2023年4月18日～2023年6月18日）に関連する事項が記載されております。

[マンジャロ®皮下注に関する重要なお知らせ | 一般社団法人日本糖尿病学会 \(jds.or.jp\)](https://www.jds.or.jp)

市販直後調査 第2回中間結果のお知らせにつきましては以下リンクよりアクセスいただけます。
<https://www.lillymedical.jp/ja-jp/answers/195580>



各種資材をご要望の場合は、弊社の医薬情報担当者にお申しつけください。
もしくは、下記ウェブサイトでもご確認ください。

日本イーライリリー株式会社
医療関係者向けウェブサイト：<https://www.lillymedical.jp/ja-jp/mounjaro>

田辺ファーマ株式会社
製品情報ホームページ：<https://medical.tanabe-pharma.com/di/product/mjr/>

®: 登録商標
MJR-N009(R2)
MJR-0054AA(--)
2025年12月改訂